

News Letter

ニュースレター

Contents

- 活動報告
 両立応援ハンドブック、ポスターの改訂
 共創コミュニティ宣言(2022.4.1)を公表
- Information
 新設された両立支援
 ベビーシッターの利用費補助制度
- インタビュー
 スタートアップ研究費を受給して vol.21(若宮准教授)
 メンター制度を利用して vol.1(館田助教)
 出張時保育支援を利用して vol.1(安喜助教)

活動報告 2022.4 → 2022.7

両立応援ハンドブック、ポスターの改訂

約5年ぶりに両立応援ハンドブックとポスターを改訂しました。ダウンロードしてお使いください。



ガイドブック

<https://www.naist.jp/gender/pdf/2022wlbhandbook.pdf>

ポスター

<https://www.naist.jp/gender/pdf/2022wlbposter.pdf>

共創コミュニティ宣言(2022.4.1)を公表

2022年4月1日に本学のダイバーシティ宣言である「共創コミュニティ宣言」を公表しました。2021年11月に立ち上げたプロジェクトチーム(教員7名、職員4名)にて草案を作成し、各領域会議への説明と意見聴取(12月下旬～1月上旬)、学生と教職員全員を対象としたアンケート(2022/1/17～2/7)、学生との意見交換会(2022/1/26)等での検討を行いました。



<https://www.naist.jp/about/community/mission.html>

INFORMATION



新設された両立支援

【テレワーク・不妊治療休暇・出生時育児休業】

2022年4月よりすべての教職員が下記制度を利用できます。10月からは「出生時育児休業」を取得できます。ご不明な点があれば管理部人事課職員係にお問い合わせください。

テレワーク

ワークライフバランス実現等を目的に、自宅又は自宅に準ずる場所、その他監督者が認める場所において勤務可

不妊治療休暇(有給)

日、時間又は分単位で年10日取得可

出生時育児休業

出産日の翌日から8週間取得可(育児休業給付金を受け取れる場合給与の67%支給)※10/1から取得可能

ベビーシッターの利用費補助制度

利用料金割引

電子割引券の提示で一日のベビーシッター利用料金から4,400円の割引、Covid-19による休園休校の場合は一日あたり11,000円の割引を受けることができます。

https://www.naist.jp/gender/contents/support/babysitter_naikakufu/

入会金・年会費の補助

2022年4月より、希望するベビーシッター会社の入会金・年会費を一人あたり22,000円を上限に補助します(一年度あたり、立替払い)。

https://www.naist.jp/gender/contents/support/tatekae_babysitter/

セミナー開催予告

2022年10～11月に「科学技術とジェンダー」をテーマとしたセミナーシリーズを開催予定です。



Interview

インタビュー

男女共同参画室WEBサイトで連載中

本学で活躍する研究者へのインタビュー

「それぞれの働き方」

<https://www.naist.jp/gender/contents/message/interview/>

スタートアップ研究費を受給して vol.21

備品購入など 研究室のセットアップができた

2015年12月から博士研究員として3年間を過ごし、その後の特任助教を経て、2020年4月に准教授として着任しました。着任と同時に研究室の引っ越しがあったので、本研究費は自分の研究室のセットアップのために使わせてもらいました。当初は学会の旅費としても使う計画でしたが、コロナ禍で使えなくなってしまったので、備品購入に充てました。科研費など他の研究費からは拠出できないものだったので、助かりました。また、研究のための書籍等も買い揃えることができました。

vol.21

情報科学領域 ソーシャル・コンピューティング研究室(荒牧研)

若宮 翔子准教授



WEBサイト
「それぞれの働き方」vol.29もチェック!

メンター制度を利用して vol.01

時間のやりくりや研究室運営について 教えていただいた

メンターの吉田聡子教授は、元々学会などでお名前は存じ上げておりましたが、親しくお話しする機会はありませんでした。本制度をきっかけにメンターになっていただきたいと希望し、引き受けていただけたのは有難かったです。着任当時本学に知り合いがほとんどいないなか、そして、コロナ禍ゆえ植物系の若手勉強会がずっとオンライン開催で実際に同僚に会える機会が少ないなか、吉田先生とは対面でお話しできたことも有り難かったです。研究時間のやりくりの仕方、外からは見えない研究室運営の苦労など、多くのことを教えていただくことができました。

vol.01

バイオサイエンス領域 植物免疫学研究室(西條研)

舘田 知佳助教



WEBサイト
「それぞれの働き方」vol.30もチェック!

出張時保育支援を利用して vol.01

未就学児だった子どもを学会や会議に 連れていくことができた

コロナ禍以前に何回も利用しました。当時未就学児だった子どもを学会や会議に連れて行けたのはいい思い出です。子ども連れの研究者は他にもいましたが、学会託児も自分で手配する託児も食事代以外ほぼ全額カバーされる本制度は本学にしかなく、羨ましがられました。子どもを実家に預けて出張しても、準備する荷物の量は一緒ですし、何日も孫の面倒を見るのは親にとってもたいへんです。私の場合のように、仕事をもつ親に休暇を取得してもらわないと預けられない人はこれからますます増えていくと思いますので、次世代にとってもよい制度だと思います。

vol.01

バイオサイエンス領域 植物成長制御研究室(梅田研)

安喜 史織助教



WEBサイト
「それぞれの働き方」vol.31もチェック!



【編集・発行】
奈良先端科学技術大学院大学
男女共同参画室

〒630-0192
奈良県生駒市高山町8916-5(けいはんな学研都市)事務局棟
TEL:0743-72-5137/5138 FAX:0743-72-6244
Email:sankaku-jimu@ad.naist.jp
URL:<https://www.naist.jp/gender/>

